

# エコアクション21

## 環境経営レポート

(対象期間) 2023年4月～2024年3月末  
(産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年版対応)



株式会社ツノ開発

発行日：2024年 6月17日

## 【目次】

	ページ
I、事業概要	3
II、環境経営方針	4
III、処理実績	5
IV、環境経営目標及びその実績	5
V、環境経営計画	6
VI、環境経営計画の取組み結果と次年度の取組内容	7
VII、環境関連法規への違反、訴訟等の有無 遵守状況の確認と評価	8
VIII、代表者による全体評価と見直しの結果・指示	8
IX、環境組織	9
X、許可の内容	
ア、産業廃棄物収集運搬業	10
イ、保有車両	11
ウ、産業廃棄物処分業	11
エ、中間処理施設の概要	12

# I、事業概要

## 1) 事業者名及び代表者名

株式会社タツノ開発  
代表取締役社長 森下 大樹

## 2) 設立

1979年2月2日

## 3) 所在地

本社：愛知県半田市岩滑西町二丁目53番地の1  
岩滑事業所；愛知県半田市岩滑西町二丁目48番地の7  
濁池工場；愛知県常滑市久米字濁池32番1  
砂刈工場；愛知県常滑市久米字砂刈12番20  
御林工場；愛知県常滑市久米字御林31番157  
岩滝最終処分場；愛知県豊田市岩滝町萩洞109番

## 4) 資本金

1,800万円

## 5) 環境管理責任者（総括）

営業部次長 伊藤 大知

## 6) 連絡先

連絡担当者：伊藤 大知  
電話（0569）23-0229  
FAX（0569）22-8376  
e-mail：info@kk-tatsuno.co.jp  
URL：http://www.kk-tatsuno.co.jp

## 7) 事業活動の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物処分業（中間処理）
- ・一般廃棄物収集運搬業
- ・一般貨物自動車運送事業

## 8) 事業規模（4/2022～3/2023）

売上高：15億4,270万円  
従業員数：72人（派遣・パート含む。）

## 9) 認証・登録の対象組織

登録組織名：株式会社タツノ開発

対象事業所：本社	（事務所床面積：204m <sup>2</sup>	従業員14名）
岩滑事業所	（車両：28台	従業員16名）
濁池工場	（敷地面積：13,882m <sup>2</sup>	従業員36名）
砂刈工場	（敷地面積：2,874m <sup>2</sup>	従業員6名）
御林工場	（敷地面積：2,911m <sup>2</sup>	従業員3名）
岩滝最終処分場	（敷地面積：5,355m <sup>2</sup>	

事業活動：産業廃棄物収集運搬及び産業廃棄物処分業（中間処理）、最終処分場の管理  
主に東海三県より排出される廃棄物を収集し中間処理し資源化する。

※特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、一般貨物自動車運送事業については現時点では実績がない為認証・登録の対象範囲としませんが、実績ができ次第認証・登録の対象範囲とします。

## 環境経営方針

株式会社タツノ開発は、産業廃棄物処理業及び収集運搬を営んでおり、企業より排出される廃棄物の有効活用を推し進めるとともにリサイクル活動に取り組んでいきます。

限りある地球資源を維持するために、社員一人一人が環境保全の重要性を確認し、業務の遂行にあたり環境への配慮を確実にすることで会社をあげて汚染の予防などの環境保全に取り組めます。

1、エコアクション2.1に適合した環境マネジメントシステムを構築し環境管理を実行します。

2、廃棄物のリサイクル活動を通じて、資源循環系会社の実現を目指します。

- 分別を高めることにより、資源化率の向上を目指します。
- 廃棄物の収集運搬には低公害車両を活用すると共に燃料削減を目指します。
- 関連法規、協定、その他当社が同意する要求事項を遵守します。
- 環境経営目標は環境経営計画を定めて、環境保全活動を進めます。これらは随時見直し、環境マネジメントシステムの継続的改善を全従業員参加のもと努めます。
- 全社員が環境に対する意識を高く持つために、この環境経営方針を文書化し組織で働く又は組織の為に働く全ての人に対して周知するとともに、一般の方にも公開します。

制定日 2016年03月25日

改定日 2020年06月01日

株式会社タツノ開発  
代表取締役社長 森下 大樹

### Ⅲ、処理実績

処理実績（2023年度4月～2024年3月末）

収集運搬量 29,761 t 中間処理量 62,728 t（資源化量41,187 t）

### Ⅳ、環境経営目標及びその実績

		2021年	2023年4月～2024年3月末			2024年度	2025年度
		基準値	目標	実績	判定	目標	目標
<b>本社・営業</b>							
電気使用量削減	kWh/売上(百万円)	16.76	17.00	16.47	○	16.45	16.40
	kg-CO2/売上(百万円)	7.693	7.803	7.560		7.551	7.528
営業車両燃費向上	km/L	22.00	20.80	19.66	×	19.70	20.00
	kg-CO2/km	0.105	0.112	0.118		0.118	0.116
廃棄物の削減	kg/年	364	375	253	○	250	370
kWh/売上=売上(百万円)当たりの電気使用量・km/L=ガソリン1L当たりの走行距離							
<b>岩滑事業所（収集運搬）</b>							
運搬効率の向上	m3/L	0.50	0.51	0.53	○	0.53	0.5
運搬車両燃費向上	km/L	4.74	4.80	4.85	○	4.80	4.70
	kg-CO2/km	0.447	0.442	0.437		0.442	0.451
m3/L=軽油1L当たりの運搬量・km/L=軽油1L当たりの走行距離							
<b>濁池工場</b>							
資源化率向上	%	63.00	68.00	62.54	×	68.00	75.00
混合物選別率向上	%	34.00	60.00	48.83	×	60.00	65.00
電気使用量削減	kWh/t	12.01	14.50	12.69	○	14.00	14.00
	kg-CO2/t	5.513	6.656	5.825		6.426	6.426
軽油使用量削減	L/t	2.14	2.50	2.12	○	2.40	2.40
	kg-CO2/t	5.521	6.450	5.470		6.192	6.192
水使用量削減	m <sup>3</sup> /t	0.13	0.90	0.05	○	0.85	0.80
<b>砂刈工場</b>							
資源化率向上	%	30.00	35.00	32.25	×	35.00	40.00
混合物選別率向上	%	78.00	80.00	65.50	×	80.00	85.00
電気使用量削減	kWh/t	5.19	5.00	3.38	○	5.00	5.00
	kg-CO2/t	2.382	2.295	1.311		2.295	2.295
軽油使用量削減	L/t	4.21	5.00	4.81	○	5.00	5.00
	kg-CO2/t	10.862	12.900	12.152		12.900	12.900
水使用量削減	m <sup>3</sup> /t	0.04	0.10	0.04	○	0.10	0.10
<b>御林工場</b>							
電気使用量削減	kWh/t	13.71	16.00	19.31	×	16.00	15.80
	kg-CO2/t	6.293	7.344	8.863		7.344	7.252
軽油使用量削減	L/t	0.72	1.00	0.78	○	1.00	0.90
	kg-CO2/t	1.858	2.580	2.012		2.580	2.322
水使用量削減	m <sup>3</sup> /t	0.44	0.45	0.34	○	0.45	0.35
金属回収量向上	kg/月	2,185	2,500	2,220	×	2,500	2,500
kW/t=処分量1t当たりの電気使用量・L/t=処分量1t当たりの軽油（又は水）使用量							

当社は、化学物質については取り扱い及び使用はありません。

上表の各サイトの実績により、会社全体実績としては下表のとおりとなった。

項目	2022年度実績	2023年度実績	評価
CO2	1,532,079kg-CO2	1,441,977kg-CO2	○
資源化率	68.00%	65.66%	×

評価の基準：○=達成 ×=未達成

二酸化炭素排出係数0.459(kg-CO2/kWh)：中部電力2022年度

## V、環境経営計画

### 本社・営業（責任者：伊藤 大知）

電気使用量の削減：窓の開閉による温度調節、ブラインド開閉による太陽光利用。

営業車燃費の向上：効率的な営業ルート構築、前日には翌日の予定を立てる。

事務所廃棄物の削減：紙ごみのリサイクル推進、菓子箱などの紙類リサイクル。

### 岩滑事業所（収集運搬）（責任者：伊藤 大知）

運搬効率の向上：数量内容等、適した車両の選定使用。

車輛燃費の向上：休憩、待機時のアイドリングストップ推進。

### 濁池工場（責任者：神野 敏治）

資源化率の向上：土間選別の効率化、現場作業員との創意工夫、リフト効率使用。

混合物選別率の向上： //

電気使用量の削減：プラント休憩時稼働停止。

軽油使用量の削減：アイドリングストップ、未徹底時を指摘する。

地下水使用量の削減：場内散水は循環水を使用する、散水用の水取得箇所の確認。

### 砂刈工場（責任者：皆川 光治）

資源化率の向上：細かく選別を行う、現場作業員との創意工夫。

混合物選別率の向上： //

電気使用量の削減：破砕機使用により目標値修正、空運転に注意。

軽油使用量の削減：アイドリングストップ、未徹底時を指摘する。

地下水使用量の削減：散水は雨水を使用する、散水用の水回り工夫。

### 御林工場（責任者：川原 昌博）

電気使用量の削減：投入量、投入物の工夫。この課題に対して投入者と細かく意見交換する。

軽油使用量の削減：アイドリングストップ、未徹底時を指摘する。

地下水使用量の削減：水漏れチェック。

金属資源回収：焼却物よりの抜き取り。

## VI、環境経営計画の取組み結果と次年度の取組内容

### 取組結果とその評価

#### 1、二酸化炭素排出量削減

電力、軽油、ガソリンの有効利用の追究、具体的には設備の有効稼働、空運転をしない。設備能力を最大に生かすといった取組が概ね定着し、目標を上回った。

#### 2、廃棄物の資源化率の向上

現実を考慮し目標値の訂正を行ったがまだ目標値が高かったように思われる結果となった。

#### 3、水使用量の削減

以前より井戸水使用により料金の発生が無かった為、安易に水使用を行って来たが、目標に加えた事により認識も高まりかなりの削減となった。

### 次年度の取組内容

#### 1、二酸化炭素排出量削減

電気使用量の削減においては施設能力を最大限に生かし、中途半端な稼働は行わない。化石燃料の削減においては重機においては最低限のエンジン回転数で作業をおこない、車両についてもエンジンの高回転を抑制する運転を徹底する（ドライブレコーダーで調整。）。（各工場・収集運搬）

本社電気使用の削減においては換気装置を上手くコントロールし、エアコンの暖気又は冷気を逃さない。

#### 2、廃棄物の資源化率の向上

社員一人一人の意識向上と創意工夫の土壌を充実させ、資源化率を向上させる。  
（濁池工場・砂川工場）

#### 3、水使用量の削減

概ね削減されている為、現状を維持する。

## Ⅶ、環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 遵守状況の確認と評価

#### 1、関連する法規

法律名等	対象						備考
	本社	収運	濁池	砂刈	御林	岩滝	
廃棄物処理法	○	○	○	○	○	○	契約書及びマニフェストの取扱遵守 許可品目以外は取扱わない 許可の無い所で収集運搬を行わない 各工場は保管量の上限を超えない
フロン排出抑制法	○		○		○		業務用空調機器 特定1種特定製品
騒音規制法			○	○	○		破碎機・ふるい機・送風機
振動規制法			○	○	○		破碎機・ふるい機・送風機
浄化槽法				○			砂刈工場、保守点検・清掃・定期検査
常滑市火災予防条例					○		灯油タンク
毒物及び劇物取締法					○		清缶剤・希硫酸
ダイオキシン類特措法					○		排ガス
大気汚染防止法					○		排ガス
水質汚濁防止法					○	○	岩滝：排水・御林：油タンク
PRTR法					○	○	ダイオキシン類
県条例（揚水届）			○		○		井戸水汲上量

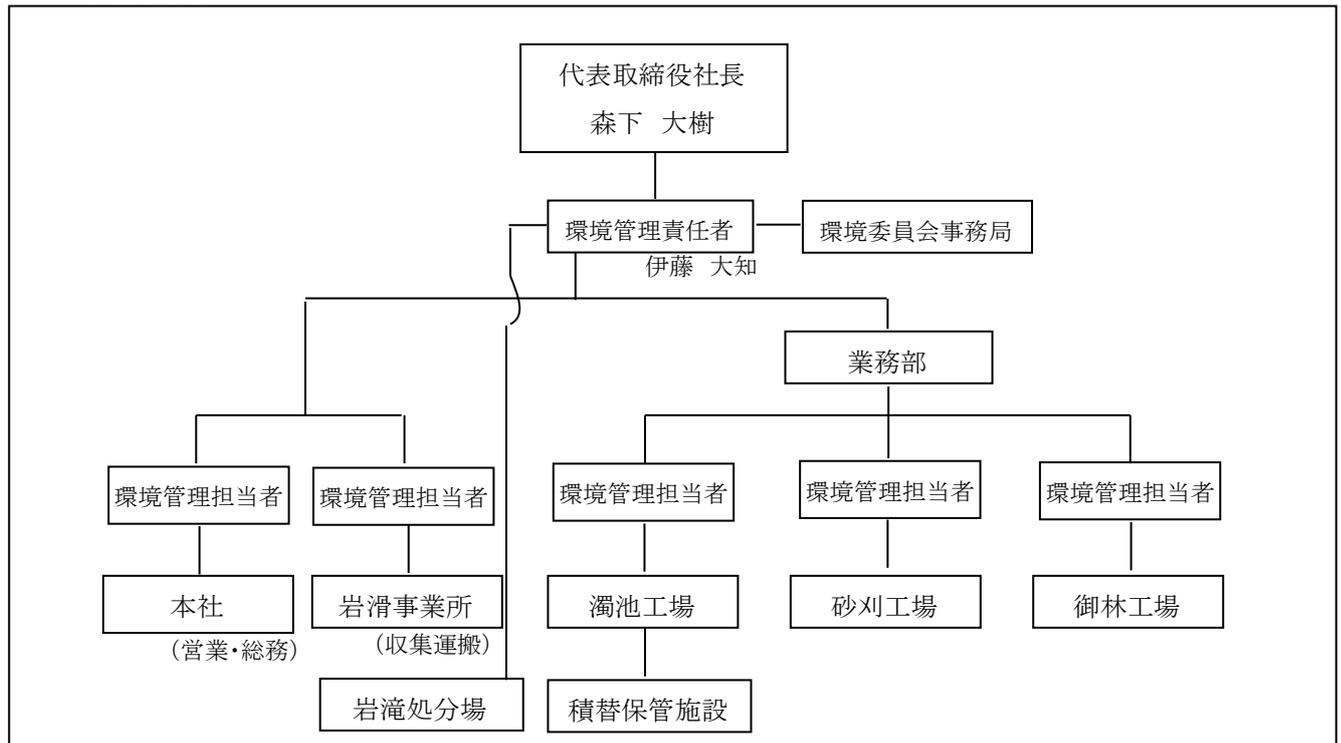
#### 2、違反・訴訟の有無

適用される主な環境関連法規等（上表）につきましては、遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

## Ⅷ、代表者による全体評価と見直しの結果・指示

日々新たなり、これまでの常識にとらわれる事無く、新たな発想と工夫により目的を再認識し、目標を達成すること。

## Ⅸ、環境組織



責任者	業務内容及び責任と権限
代表取締役社長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営方針制定、改定</li> <li>2. 環境マネジメントマニュアルの承認</li> <li>3. 環境管理責任者、担当者の任命</li> <li>4. 環境マネジメントシステムに必要な資源の提供</li> <li>5. 代表者による全体評価と見直しを実施する。</li> </ol>
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織内環境マネジメントシステム（安全衛生を含む。）の統括</li> <li>2. 環境経営目標の策定の推進</li> <li>3. 環境経営計画の推進と検証</li> <li>4. 組織外部からの情報伝達の回答準備</li> <li>5. 組織内部からの情報伝達の受理・回答の窓口</li> <li>6. 環境上の問題点の明確化と解決策の策定</li> <li>7. 環境マネジメントシステムのパフォーマンスを経営層に報告</li> <li>8. 環境マネジメントマニュアルの作成</li> </ol>
環境委員会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営層の任命に基づき、環境委員会を編成し、環境マネジメントシステム（安全衛生を含む。）を推進する</li> <li>2. 委員会の構成等 ・委員会構成：経営層、環境管理責任者、環境管理担当者</li> </ol>
環境管理事務局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者を補佐し、環境マネジメントシステムの事務を取りまとめる。</li> <li>2. 本社の環境管理担当者の兼務</li> </ol>
環境管理担当者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担当部署の環境マネジメントシステム（安全衛生を含む。）の推進。</li> <li>2. 環境経営目標及び環境経営計画の策定</li> </ol>
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。</li> <li>2. 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ol>

# X、許可の内容

## ア・産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬及び特別管理産業廃棄物収集運搬	都道府県	愛知県		三重県		岐阜県	和歌山県	滋賀県	福井県	兵庫県	奈良県	石川県	富山県	静岡県
	区分		特別		特別									
	積替え保管	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無
許可年月日	令和四年十月七日	令和十一年十月六日	平成三十年十月二日	令和一年八月二七日	令和一年八月二七日	令和二年三月二三日	令和二年七月二十日	令和三年十二月二十日	令和三年十二月二十日	令和三年十一月二十日	令和四年一月十八日	令和四年三月十一日	令和四年五月二十日	令和十一年十月三十一日
許可番号	02310000496	02350000496	02400000496	02450000496	02450000496	02100000496	03000000496	02501000496	01801000496	02805000496	02900000496	01701000496	01604000496	02202000496
許可品目	燃え殻	●		●		●			●	●		●	●	
	汚泥	●		●		●			●	●		●	●	
	廃油	●		●		●		●	●	●		●	●	
	廃酸	●		●		●			●	●		●	●	
	廃アルカリ	●		●		●			●	●		●	●	
	廃プラスチック類	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	紙くず	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	木くず	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	繊維くず	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	動植物性残さ	●		●		●			●	●		●	●	
	ゴムくず	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	金属くず	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ガラス・コンクリート・陶磁器	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	鋳さい	●		●		●			●	●		●	●	
	がれき類	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ダスト類	●		●		●			●	●		●	●	
	引火性廃油		●		●									
	腐食性廃酸		●		●									
腐食性廃アルカリ		●		●										
感染性産業廃棄物		●		●										
積替え保管	所在地：愛知県常滑市久米字御林124番 面積：1,168.18m <sup>2</sup> （保管面積213.06m <sup>2</sup> ） 保管上限：184.20m <sup>3</sup> ・高さ：2.2m 許可品目：燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、ダスト類 以上10品目 自動車等破砕物は除く。													

イ、保有車両（産業廃棄物収集運搬車）

ダンプ : 3台

最大積載量 : 9,000 kg・9,100kg・9,100kg

キャブオーバー : 4台

最大積載量 : 2,600 kg・2,600 kg・2,300 kg・2,300kg

脱着装置付コンテナ専用車 : 20台

最大積載量 : 3,850kg・10,200kg・7,200kg・3,550kg

3,000kg・6,200kg・2,500kg・10,700kg

3,000kg・6,400kg・7,900kg・3,800kg

7,100kg・10,400kg・12,000kg・3,600kg

6,200kg・2,350kg・6,500kg・2,250k

塵芥車 1台（最大積載量 : 1,500 kg）

計 28台

ウ、産業廃棄物処分業

都道府県	許可番号	許可年月日	許可の期限
愛知県	02320000496	令和6年5月13日	令和13年2月23日
許可品目 / 処理区分	選別	破碎	焼却
廃プラスチック類	●	●	
紙くず	●	●	●
木くず	●	●	●
繊維くず	●		●
ゴムくず	●		
金属くず	●		
ガラス・陶磁器くず	●	●	
がれき類	●		
動植物性残さ			●
石綿含有産業廃棄物を除く。 自動車等破碎物を除く。 水銀使用作業廃棄物を除く。			



施設の種類：選別施設

設置場所：常滑市久米字砂刈12番20

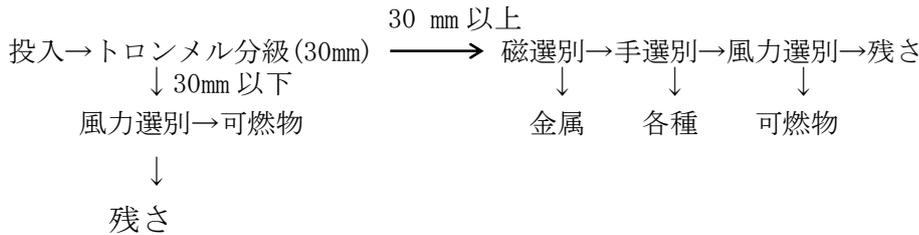
設置年月日：平成5年12月2日

処理能力：廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）

163.84m3/日 (20.48m3/時間)

許可年月日及び許可番号：該当なし

処理工程：



委託  
 残さ→最終処分  
 可燃物→固形燃料  
 売却  
 金属→金属資源  
 各種→その都度

施設の種類：選別施設

設置場所：常滑市久米字濁池32番1

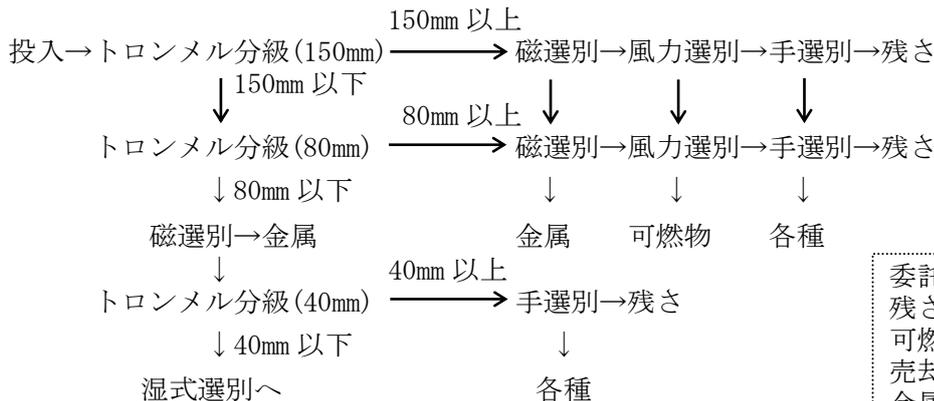
設置年月日：平成11年4月10日

処理能力：廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）

257.2m3/日 (25.72m3/時間)

許可年月日及び許可番号：該当なし

処理工程：



委託  
 残さ→最終処分  
 可燃物→固形燃料  
 売却  
 金属→金属資源  
 各種→その都度

施設の種類：選別施設

設置場所：常滑市久米字御林112番

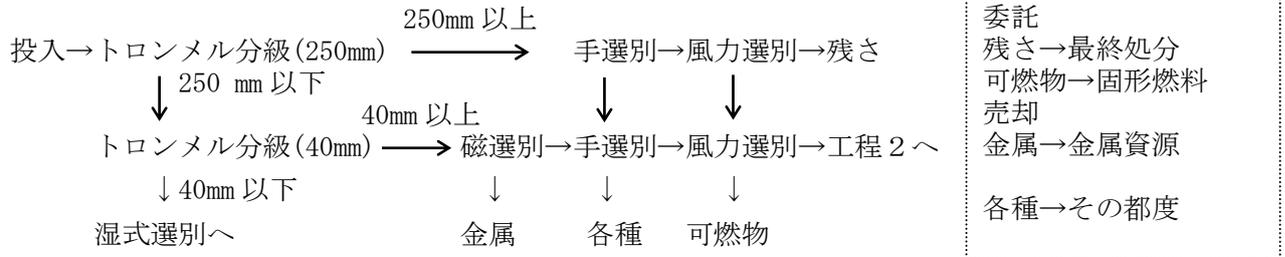
設置年月日：平成19年2月26日

処理能力：廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）

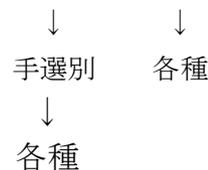
251.8m<sup>3</sup>/日（25.72m<sup>3</sup>/時間）

許可年月日及び許可番号：該当なし

処理工程：



工程2→湿式洗浄→浮沈選別→手選別→残さ



※洗浄水は循環利用により排水はありません。

施設の種類：選別施設

設置場所：常滑市久米字御林124番

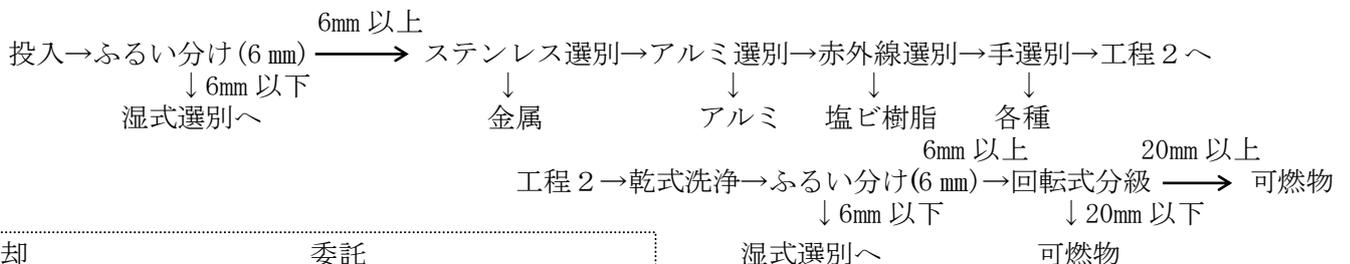
設置年月日：平成19年10月4日

処理能力：廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）

150m<sup>3</sup>/日（15m<sup>3</sup>/時間）

許可年月日及び許可番号：該当なし

処理工程：



売却  
金属→金属資源  
アルミ→金属資源  
各種→その都度

委託  
塩ビ樹脂→最終処分  
可燃物→固形燃料

施設の種類：選別施設（湿式選別）



設置場所：常滑市久米字御林124番

設置年月日：平成20年6月23日

処理能力：木くず

4.64 t / 日 (0.464 t / 時間)

許可年月日及び許可番号：該当なし

処理工程：

投入 → ハンマー式破砕機 → 30mm 以下 (木材チップ)

\*破砕機下部に網は一体となっている為、30mm 以上は発生しない。

売却  
30mm 以下→ボイラー燃料

施設の種類：破砕施設

設置場所：常滑市久米字砂刈12番20

設置年月日：平成23年2月1日

処理能力：廃プラスチック類 (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。) 4 t / 日 (0.5 t / 時間)

木くず

3.36 t / 日 (0.42 t / 時間)

紙くず

5.76 t / 日 (0.72 t / 時間)

許可年月日及び許可番号：該当なし

処理工程：

投入 → 一軸破砕機 → 40mm 以下

\*破砕機下部に40mm 網は一体となっている為、40mm 以上は発生しない。

委託  
40mm 以下→固形燃料

施設の種類：管理型最終処分場

設置場所：愛知県豊田市岩滝町萩洞109番他

埋立終了年月日：平成10年7月31日

現在は放流水の水質調整中 (希硫酸添加による pH 調整のみ。処理能力 5 m<sup>3</sup>/日)

直近の放流水の分析結果 (2023年度)

項目	場所	放流水	排水基準	単位	
	採取日	6月 8日	地下水は1/10 又は()		
	結果が得られた日	6月23日	※は検出されない事		
カドミウム		0.003 未満	0.03	mg / L	
全シアン		0.1 未満	1.0※		
鉛		0.02 未満	0.1		
六価クロム		0.04 未満	0.5		
砒素		0.01 未満	0.1		
総水銀		0.0005 未満	0.005		
アルキル水銀		0.0005 未満	検出されないこと※		
PCB		0.0005 未満	0.003※		
ジクロロメタン		0.02 未満	0.2		
四塩化炭素		0.002 未満	0.02		
塩化ビニルモノマー (クロロエチレン)					
1, 2-ジクロロエタン		0.004 未満	0.04		
1, 1-ジクロロエチレン		0.02 未満	1.0		
1, 2-ジクロロエチレン					
1, 1, 1-トリクロロエタン		0.001 未満	3.0		
1, 1, 2-トリクロロエタン		0.006 未満	0.06		
トリクロロエチレン		0.002 未満	0.1		
テトラクロロエチレン		0.001 未満	0.1		
1, 3-ジクロロプロペン		0.002 未満	0.02		
チラウム		0.006 未満	0.06		
シマジン		0.003 未満	0.03		
チオベンカルブ		0.02 未満	0.2		
ベンゼン		0.01 未満	0.1		
セレン		0.01 未満	0.1		

アンモニア性窒素	0.1 未満	アンモニア性窒素× 0.4+亜硝酸性窒素 +硝酸性窒	
亜硝酸性窒素	0.1 未満		
硝酸性窒素	1.5		
アンモニア、アンモニウム化合物	6.7	200 (10)	
ふっ素	2.6	15.0 (0.8)	
ほう素	2.7	50.0 (1.0)	
1,4-ジオキサン	0.05 未満	0.5	
有機りん化合物	0.1 未満	1.0	
水素イオン濃度	8.2 (25°C)	5.8~8.6	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 未満	0.4	mg/L
ノルマヘキサン抽出物質含有量 (鉱油)	0.5 未満	5.0	
ノルマヘキサン抽出物質含有量 (動物)	0.5 未満	30.0	
フェノール類含有量	0.025 未満	5.0	
銅含有量	0.01 未満	3.0	
亜鉛含有量	0.01 未満	2.0	
溶解性鉄含有量	0.1 未満	10.0	
溶解性マンガン含有量	0.1 未満	10.0	
クロム含有量	0.04 未満	2.0	
大腸菌群数	80 個	3,000	
窒素含有量	1.6	120.0	mg/L
燐含有量	1.1	1.6	
ダイオキシン類	1.3	10.0	pg-TEQ/L

直近の月次の分析結果 (2023年度)

項目	場所	放流水	排水基準	単位
	採取日	5月9日		
	結果が得られた日	5月20日		
水素イオン濃度		8.4 (20°C)	5.8~8.6	—
窒素含有量		1.7 mg/L	120.0	mg/L
生物化学的酸素要求量 (BOD)		1.5 mg/L	60.0	
浮遊物質		1 mg 未満/L	60.0	